

2026年8月3日

各 位

SBI生命保険株式会社

西アフリカ開発銀行が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について ～西アフリカにおける持続可能な開発を支援～

SBI生命保険株式会社（東京都港区、代表取締役社長：篠原 秀典、以下「当社」）は、ESG投資の一環として、西アフリカ開発銀行（Banque Ouest Africaine de Développement、以下「BOAD」）が発行するサステナビリティボンドへの投資を実行いたしましたので、お知らせいたします。

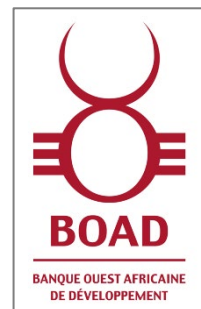
なお、当社として初となるアフリカ域内発行体が発行するサステナビリティボンドへの投資となります。

1. 投資の背景と目的

当社は、事業活動を通じた社会的価値の創出とともに、資産運用においても環境・社会・ガバナンス（ESG）要素を考慮した責任投資を推進しております。

BOADは、西アフリカ経済通貨同盟（WAEMU）加盟8カ国の経済発展および地域統合を目的として、1973年に設立された国際開発金融機関です。

当社は本債券への投資を通じて、開発途上国・新興国における気候変動対策、インフラ整備、貧困削減などの持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた取り組みを資金面から支援してまいります。



▲西アフリカ開発銀行
公式ロゴ

2. 資金の使途と社会的貢献

本債券により調達された資金は、西アフリカ地域における環境および社会課題の解決に資するプロジェクトへ充当されます。

具体的には、再生可能エネルギーの普及、水資源・衛生環境の改善、持続可能な農業の推進、気候変動への適応・緩和、教育・医療インフラの整備、中小企業支援などのプロジェクトが対象となります。これらの取り組みは、地域住民の生活水準向上や経済的包摂の促進に加え、SDGsの達成にも貢献することが期待されています。

当社は、本投資を通じてESG課題の解決に貢献するとともに、持続可能な社会の実現と社会的インパクトの創出を目指してまいります。

3. 今後の取り組み

SBIグループは、創業以来、「企業は社会の一構成要素であり、社会に帰属しているからこそ存続できる」という変わらぬ考えのもと、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現と継続的な社会価値の向上を目指しています。

今後も、長期安定的な運用収益の確保に努めるとともに、ESG投資への積極的な取り組みを進め、中長期的な視点から環境や社会などの課題解決と持続可能な社会の実現に貢献すべく尽力してまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

SBI生命保険株式会社 広報担当

E-mail : pr@sbilife.co.jp

※お問い合わせはメールにてお願いいたします。